

くれたけぶんこ 呉竹文庫をつくった くまたげんたろう 熊田源太郎 とは

げんたろう 源太郎は、めいじ 明治19年（1886）8月に生まれました。

家はきたまえぶね ふなぬし 北前船の船主で栄えていましたが、さい とき 17歳の時に父を亡くし、かぎょう 家業を継ぎましたが、べんきょう 勉強をしたいというおもい 思いを持っていました。

わか 若くしてしごと 仕事をしだした源太郎は、

そうこぎょう 倉庫業（にもつ 荷物をもつ 保管する場所を貸す）

うんそうぎょう 運送業（にもつ 人の荷物を運び、はこ お金をもらう）

ほくようぎょう 北洋漁業（ほっかいどう 北海道でぎょう 漁業をさせ、さかな 魚を売りさばく）

こうざんかいはつ 鉱山開発（やま 山を開拓し、こうぶつしげん 鉱物資源を売る）

ぎんこうぎょう 銀行業（もって 持っているお金をだし、おかね 貸したりする）

のうじょうけい 農場経営（とち 土地をこめ やさいづく りよう 米や野菜作りに利用させ、さんぶつ 産物を売る）

じぬし 地主（もって 持っている土地を貸し、りようりょうきん 利用料金をもらう）

ほか その他

たいしょう 大正2年（1913）さい 28歳で、みなとむらぎかいぎいん 湊村議会議員（村のことを決める）

大正12年（1923）からねんかん 4年間、みなとむら 湊村のそんちょう 村長

しょうわ 昭和9年（1934）にふたたび 再び、みなとむら 湊村の村長をし、さいがいふつきゅう 災害復旧にあたる。

昭和10年（1935）1月に、48歳でな 亡くなる。